

郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年8月31日現在

潜在力をフル活用した生産強化

■郡上産米ブランド化研究会 白川村美味しい米づくり研究会を視察

8月4日、米の食味向上による郡上産米のブランド化を目的として設立された郡上産米ブランド化研究会では、白川村美味しい米づくり研究会の視察研修を実施した。当日は、研究会会員21名に加え、JA、市、農林事務所などの関係機関5名が参加した。

研修では、良食味米を栽培する白川村美味しい米づくり研究会代表のは場を視察し、栽培品種や田植え日などの耕種概要をはじめ、施肥及び防除体系や栽培上の工夫について説明を受けた。参加者からは、普通栽培との違いや良食味は場の割合などの質問が出された。参加者はきれいに管理されたは場で、水温や茎数などを確認でき、充実した研修会となった。

当研究会は、今後「郡上おいしい米コンテスト」や全国規模のコンクール等に参加する予定で、農業普及課は、会員の技術向上や郡上産米の知名度向上に向けた取り組みを支援し、郡上産米のブランド化を推進していく。



【視察研修会の様子】

多様な主体の参画促進

■農福連携 農福連携マッチングの実施

8月20日、岐阜県農福推進センター（以下、センター）が、農福連携のマッチングを目的に、JAが運営するいちご出荷場（高鷲町）・トマト出荷場（八幡町）、（有）ファットリエ栗巣（大和町）、社会福祉法人・ぶなの木福祉会（大和町）を訪問した。

センターは、生産者から事前に提出された農作業委託申込書に基づき、聞き取りを行いながら作業内容や現場の状況を確認した。その後、生産者のニーズを福祉事業所に伝えマッチングに向けた調整を行った。

その結果、水稻の苗箱洗いと畦畔の除草作業でマッチングが成立し、早速9月から除草作業が開始されることとなった。その他の作業は、センターが受入れ可能な福祉事業所を探していく予定である。

農業普及課では、生産者のニーズの把握に努めながら、センターや関係機関と連携しながら、今後も農福連携の推進を図っていく。



【検討会の様子】